

## 目 次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・ P 2
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・ P 3

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年度、医学部医学科の入学定員を110名から120名に変更する。これに伴い、収容定員も変動するため、附則40として以下を追加する。

附則40. この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。なお、第7条の規定にかかわらず医学部医学科については、令和10年度までの入学定員及び収容定員は、以下のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和5	120人	720人
令和6	110人	710人
令和7	110人	700人
令和8	110人	690人
令和9	110人	680人
令和10	110人	670人

### 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」で、地域の医師確保の必要性が示されたが、当時、本学では地域医療を担う医師の養成ができる環境を整備できず、定員増を見送ってきた。しかし、平成24年に寄附講座「豊田市・藤田保健衛生大学連携地域学」（当時の名称）、平成25年には学校法人として初めて介護事業者の認可を受けた「地域包括ケア中核センター」、平成26年には「地域連携教育推進センター」を相次いで設置するなど、地域医療に貢献する人材育成環境が整ったことから、愛知県との協議の結果、平成27年度から7年間にわたって、医学部入学定員を10名増員してきた（初年度は5名）。

今回、令和4年8月25日付の文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知を受け、愛知県と協議した結果、愛知県内の地域医療を担う医師を確保するためこれに呼応し、新たに令和5年度も10名の定員増を実施することとした。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

基本的には、これまで実施してきた教育課程に変更はない。具体的には、地域枠で入学した地域医療を担う意欲ある学生に対し、入学後速やかに地域医療に対する強い熱意と使命感を涵養させるため、地域枠入学生は、1～3年次では「課外授業（参加を義務付け）」として、夏季、年末年始、春季の休暇期間中に1週間にわたり、寄附講座「豊田市・藤田医科大学連携地域学」が中心となり、愛知県三河地域の小病院やへき地診療所で現場を体験させ、地域社会における医療の現状を学ばせる。

4～5年次の「臨床実習」は、愛知県医師会の協力を得て、地域医療の担い手である家庭医（在宅医療、老健施設含む）などでの実習や、100～300床規模の地域の中核病院で実習を行い、地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解させ、実践に必要な能力を身につけさせる。

さらに6年次は、「選択制総合実習」で、愛知県内の公立病院で参加型臨床実習を行い、6年間を通して地域医療の現場に身を置く教育プログラムを提供する。

なお、今回の学則変更に伴う教員組織および施設・設備に関する変更はない。

以上

令和5年度  
医学部入学定員増員計画

藤田2022第36号  
令和4年8月18日

文部科学省高等教育局長 殿

職名及び氏名

藤田医科大学

理事長 星長 清隆

「地域の医師確保等の観点からの令和5年度医学部入学定員の増加について（令和4年8月10日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	藤田医科大学 学務部 医学部学務課 横田正明
	TEL	0562-93-2601
	FAX	0562-93-4593
	E-mail	med-2@fujita-hu.ac.jp



大学名	国公立
藤田医科大学	私立

1. 現在(令和4年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	720

↑  
(収容定員計算用)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(ア)入学定員	120	120	120	120	120	120	720
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	120	120	120	120	120	720

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和5年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	660

↑  
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	110	110	110	110	110	110	660
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	110	660
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和5年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	670

↑  
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	120	110	110	110	110	110	670
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	110	110	110	110	110	670
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 10

↑  
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
計	10

# 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 10

## (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
愛知県	10
計	10

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与 者数のうち多い 方の数
愛知県	10	10	10	10	10
計	10	10	10	10	10

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### (3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

#### 1. 大学が講ずる措置 1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和3年度に実施した地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれをご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
			選抜区分	うち臨時定員分				
一般入試	(iii)一般選抜地域枠(前期・後)	別枠(区別型)	10	10	一次試験(学科)の成績で選抜された受験生に、二次試験(面接)を実施	「愛知県地域枠」を併願する場合は、上記の条件に加え、次の(a)~(d)の条件を全て満たす	H27	
合計			10	10				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

② 令和4年度に実施する地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれをご記入ください。また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
			選抜区分	うち臨時定員分				
一般入試	(iii)一般選抜地域枠(前期・後)	別枠(区別型)	10	10	一次試験(学科)の成績で選抜された受験生に、二次試験(面接)を実施	「愛知県地域枠」を併願する場合は、上記の条件に加え、次の(a)~(d)の条件を全て満たす	H27	
合計			10	10				

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

地域枠で入学した学生は、1年次から3年次まで地域医療実習として毎年1週間、愛知県内の過疎地を中心とした地域滞在型実習および一般入学生とともに地域病院実習2週間、診療所実習1週間、在宅医療実習1週間を行う。愛知県内の他大 学地域枠学生とともに、グループワークを通じた交流を行う。(コロナ禍においては WEB開催中である。)

(参考: 記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成27年度から地域枠を設けており、第1期生5名、第2期生10名、計15名を輩出、国試浪人生1名を除く全員が本学病院で初期研修中であり、専門医研修終了後は愛知県の指定する機関へ着任する予定。

(参考: 記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
4年生	地域医療・介護	全員	必修	必修	講義	1	H29
5年生	地域医療実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
5年生	在宅医療実習	全員	必修	必修	実習	1	H29
5年生	地域病院実習	全員	必修	必修	実習	2	H29

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください)  
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
1年次	地域医療実習	地域枠学生		1週間	地域に滞在し住民の生活・文化を知る	H27
2年次	地域医療実習	地域枠学生		1週間	地域の保健師等に帯同し地域保健を知る	H28
3年次	地域医療実習	地域枠学生		1週間	地域の医師に帯同し地域医療を知る	H29

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
愛知県地域枠学生ワークショップ	愛知県内の他大学地域枠学生との交流	H27

※空欄がある場合は、何も記入せずそのまま提出ください。



教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療人の教養	近現代文学	1前・後				○								兼1	
	論理学	1前・後				○								兼1	
	人類学	1前・後				○								兼1	
	社会学	1前・後				○								兼1	
	歴史学	1前・後				○								兼1	
	教育学	1前・後				○								兼1	
	法学	1前・後				○								兼3	オムニバス
	経済学	1前・後				○								兼2	オムニバス
	スポーツ科学	1通		1.0		○				1				兼3	※実習 オムニバス
小計(9科目)	-	0.0	5.0	0		-		0	1	0	0	0	兼14	-	
外国語Ⅰ	Academic English	1通	1.5			○				1	1				オムニバス
	Medical English I	1通	2.0			○			1	1				兼8	オムニバス
	ドイツ語	1通				○								兼1	
	フランス語	1通				○								兼1	
	中国語	1通				○								兼1	
	ポルトガル語	1通				○								兼1	
小計(6科目)	-	3.5	2.0	0		-		2	2	1	0	0	兼12	-	
盤の基礎情報	基礎データサイエンス	1通	2.0			○			1	1	2	2		兼1	※演習 オムニバス
	小計(1科目)	-	2.0	0.0	0		-		1	2	1	0	0		-
の科学基礎Ⅰ	読書ゼミナール	1前	0.5			○			8	6	7	3			※演習 オムニバス
	小計(1科目)	-	0.5	0.0	0		-		8	6	7	3	0		-
人の行動と心理Ⅰ	人の行動と心理Ⅰ	1前	1.0			○					1				
	小計(1科目)	-	1.0	0.0	0		-		0	0	1	0	0		-
医療人のプロフェッショナルⅠ	医学教育入門	1前	1.0			○			8	2	2			兼4	※演習 オムニバス
	生老病死の人間学	1前	1.0			○			3					兼14	オムニバス
	生命倫理学	1後	1.0			○			1					兼4	オムニバス
	プロフェッショナリズムⅠ	1後	0.5			○			2	1	1			兼2	※演習、実習 オムニバス
	早期臨床体験	1通	1.0			○			2		1			兼1	※実習 オムニバス
	小計(5科目)	-	4.5	0.0	0		-		11	2	4	0	0	兼18	-
生命の基礎科学	生命科学	1通	2.5			○			2	1	1			兼1	※実習 オムニバス
	物理学	1通	2.5			○				2					※実習 オムニバス
	化学	1通	2.5			○			2	1	1			兼1	※実習 オムニバス
	小計(3科目)	-	7.5	0.0	0		-		2	3	1	0	0	兼2	-
人体の構造と機能Ⅰ	細胞の生理	1後	1.0			○			2	1		2			※実習 オムニバス
	細胞から個体へ	1後	3.5			○					2	1		兼4	※実習 オムニバス
	人体の構造Ⅰ	1後	5.0			○			1		2	2			※実習 オムニバス
	アセンブリ教育(専門職連携教育)	1通	1.0				○		1	5	4	6		兼2	
	小計(4科目)	-	10.5	0.0	0		-		4	6	8	11	0	兼4	-
外国語Ⅱ	Medical EnglishⅡ	2通	1.0			○				1				兼8	オムニバス
	小計(1科目)	-	1.0	0.0	0		-			1		0	0	兼8	-
科学基礎Ⅱ	Human Biology	2通	1.0			○			6	3	6	3			※演習 オムニバス
	小計(1科目)	-	1.0	0.0	0		-		6	3	6	3	0		-
人の行動と心理Ⅱ	人の行動と心理Ⅱ	2後	1.0			○			2	2				兼6	オムニバス
	小計(1科目)	-	1.0	0.0	0		-		2	2	0	0	0	兼6	-
医療人のプロフェッショナルⅡ	プロフェッショナリズムⅡ	2後	0.5			○			2					兼2	※演習、実習 オムニバス
	小計(1科目)	-	0.5	0.0	0		-		2	0	0	0	0	兼2	-
人体の構造と機能Ⅱ	人体の構造Ⅱ	2前	3.0			○			2		2	2		兼3	※実習 オムニバス
	人体の生理	2前	8.0			○			3	2	2	2		兼4	※実習 オムニバス
	人体を構成する物質と化学反応	2通	4.5			○			1		3	1		兼2	※実習 オムニバス
	生体と薬物	2通	4.0			○			1	1	1	2		兼4	※実習 オムニバス
	小計(4科目)	-	19.5	0.0	0		-		7	3	7	7	0	兼13	-



教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
病態因Ⅰと病	病気と生体応答	2後	3.0			○			7	2		2	1	兼1	※実習 オムニバス
	疾患の遺伝的要素	2後	1.0			○			3	1					オムニバス
	アレルギーと生体防御	2前	1.5			○			1						オムニバス
	小計(3科目)	-	5.5	0.0	0	-			10	2	0	2	1	兼1	-
病態因Ⅱと	細菌・真菌と感染	2後	3.5			○			1	1	1	1		兼1	※実習 オムニバス
	ウイルス・寄生虫と感染	2後	3.0			○			1	1	3				※実習 オムニバス
	小計(2科目)	-	6.5	0.0	0	-			2	2	4	1		兼1	-
医社会Ⅰと	疫学	2後	1.0			○			2		3			兼1	※演習 オムニバス
	医学統計学	2前	1.0			○			2		3			兼1	※演習 オムニバス
	小計(2科目)	-	2.0	0.0	0	-			2	0	3	0	0	兼2	-
語外Ⅲ国	Medical EnglishⅢ	3通	1.0			○				1				兼9	オムニバス
	小計(1科目)	-	1.0	0.0	0	-			0	1	0	0	0	兼9	-
の科学基礎Ⅲ	医学研究入門	3後	1.0			○			3						オムニバス
	医学研究演習	3後	6.0					○	61						オムニバス
	小計(2科目)	-	7.0	0.0	0	-			58	0	0	0	0		-
のキャリアⅢ	プロフェッショナリズムⅢ	3後	0.5			○			2		1			兼6	※演習、実習 オムニバス
	小計(1科目)	-	0.5	0.0	0	-			2	0	1	0	0	兼6	-
態と病Ⅲ病因	臓器の疾患と生体応答	3前	1.5			○			4	1		1			※実習 オムニバス
	小計(1科目)	-	1.5	0.0	0	-			4	1	0	1	0		-
医社会Ⅱと	予防医学	3通	2.0			○			1		3			兼4	※実習 オムニバス
	公衆衛生学	3通	2.0			○			2	1	1	1		兼7	※実習 オムニバス
	小計(2科目)	-	4.0	0.0	0	-			3	1	4	1	0	兼11	-
の診療と診断基本Ⅰ	臨床検査	3前	1.5			○			2	1	1			兼3	オムニバス
	画像診断Ⅰ	3後	1.0			○			3	1	2			兼6	オムニバス
	PBLⅠ	3後	1.0			○			5	1	5			兼1	※演習 オムニバス
	基本的診療技能Ⅰ	3後	0.5			○			3		1			兼3	※実習 オムニバス
	小計(4科目)	-	4.0	0.0	0	-			12	3	7	0	0	兼13	-
臨床医学系	救急医学	3前	1.0			○			2			2		兼2	オムニバス
	東洋医学	3前	0.5			○			1	1	1	2		兼2	オムニバス
	血液系	3前	1.0			○			2	2	2	1		兼2	オムニバス
	神経系	3通	1.5			○			9	4	2	1		兼1	オムニバス
	運動器系	3後	2.0			○			2	4	5	1			オムニバス
	循環器系	3前	2.5			○			6	7	2	1		兼5	オムニバス
	呼吸器系	3前	1.0			○			5	1	7			兼1	オムニバス
	消化器系	3前	4.0			○			14	6	7			兼2	オムニバス
	腎臓内科系	3前	1.0			○			3	1	3				オムニバス
	腎・尿路・生殖器外科系	3後	1.0			○			4	1	3			兼1	オムニバス
	女性生殖器系	3後	1.5			○			4	1	2			兼2	オムニバス
	内分泌代謝系・乳腺疾患	3後	2.0			○			4		5			兼2	オムニバス
	精神・行動系	3前	1.5			○			2	1	4			兼3	オムニバス
	膠原病系	3前	1.0			○			2	1	2	1		兼4	オムニバス
	感染症系	3前	1.0			○			1	1	1	2			オムニバス
	腫瘍の病態、診断と治療	3前	1.0			○			6	3				兼1	オムニバス
	成長・発達・小児系	3前	3.0			○			4	4	4	2		兼2	オムニバス
小計(17科目)	-	26.5	0.0	0	-			70	37	51	13	0	兼30	-	
態と病Ⅳ病因	病態病理実習	4前	0.5					○	3	2		2			オムニバス
	小計(1科目)	-	0.5	0.0	0	-			3	2	0	2	0		-
医社会Ⅲと	地域医療・介護	4前	0.5			○			1					兼6	オムニバス
	法医学	4前	2.0			○			1			2		兼3	オムニバス
	小計(2科目)	-	2.5	0.0	0	-			2	0	0	2	0	兼9	-
の診療と診断基本Ⅱ	画像診断Ⅱ	4前	2.0			○			5	2	6	1		兼7	オムニバス
	PBLⅡ	4前	1.0			○			4	1	3	1			※演習 オムニバス
	基本的診療技能Ⅱ	4前	2.0					○	20	3	3			兼3	※講義 オムニバス
	小計(3科目)	-	5.0	0.0	0	-			27	5	11	2	0	兼10	-



教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床医学系	症候・病態	4前	1.0			○			4	2	2	9	1	兼3	オムニバス
	周術期医学	4前	2.0			○			11	3	1	4		兼2	オムニバス
	リハビリテーション医学	4前	1.0			○			3	4	3			兼4	オムニバス
	皮膚・形成系	4前	1.0			○			2	4	4				オムニバス
	眼・視覚系	4前	1.0			○			2	2	1	2			オムニバス
	耳鼻咽喉・口腔系	4前	1.0			○			3	1	2	3	1		オムニバス
	緩和ケア	4前	1.0			○			1	1	2			兼3	オムニバス
	加齢・高齢者系	4前	0.5			○			2		1			兼3	オムニバス
	小計(8科目)	-	8.5	0.0	0				27	17	16	16	2	兼14	-
臨床医学系	臨床実習	4後～5通	65.0					○	74	55	100				オムニバス
	小計(1月科目)	-	65.0	0.0	0				74	55	100	0	0		-
総合医学系	選択制臨床実習	6前	8.0					○	74	54	98				オムニバス
	総合医学	6通	4.0			○			17	9	15	4			オムニバス
	小計(2科目)	-	12.0	0.0	0				91	63	113	4	0		-
合計(91科目)		-	204.5	7.0	0				432	220	346	68	3	兼379	-
学位又は称号		学士(医学)		学位又は学科の分野				医学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
医学部医学科教育課程に定める授業科目を配当年次に全て履修し、次の各号の条件を全て満たすことを卒業の条件とする。 1. 卒業試験に合格する。 2. 大学が指定する卒業要件を全て満たすこと。 【卒業試験の合否判定】 ① 卒業試験I(8月末実施予定)の得点3割と卒業試験II(11月末実施予定)の得点7割を合算した卒業試験総合成績を用いて12月中旬に行う。 ② ①で卒業認定された学生の内、下位40名程度を卒業保留者とする。 卒業保留者は、卒業保留者追試験(1月下旬実施予定)を受験する。卒業試験総合成績5割と卒業保留者追試験成績5割を合算した総合成績を用いて1月下旬に行う。								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			70分				

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

## 目 次

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・ P 2
2. 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

愛知県内では、本学を含む国公立大学4大学ですでに地域枠を導入している。学費面および学生募集の条件等が、本学と比較的近い県内私立医科大学の地域枠入試の志願者数を調査した結果、2022年度は53名(定員10名)、2021年は60名(定員10名)、と堅調であることから、一定数の志願者確保、および医学教育を受けるにふさわしい能力・意欲を有した入学者の確保が期待できる。(資料1)

##### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

過去3年間の医学部志願者は、国公立大学では、22,342名(2022年度)、21,883名(2021年度)、22,145名(2020年度)、私立医科大学においては、90,269名(2022年度)、91,225名(2021年度)、100,610名(2020年度)、と推移しており、依然として高い入試倍率をキープしている。(資料2)

本学では、地域枠入試における志願者は年々増加傾向であり、2021年度は10名の定員に対して319名の志願者があったことから、今後も大幅な志願者の落ち込みは想定できない。(資料3)

##### ウ 学生納付金の設定の考え方

医学部志望の受験生が、私立医科大学を志望する上で、高額な学費が大きな障害となる。本学は平成28年度には3,620万円だった6年間の学費を、平成29年度入学者から2,980万円に下げ、受験生を持つ家庭の経済的負担を軽減してきた。愛知県からの6年間分の修学資金は1,110万円であり、これに本学からの6年間分の修学資金900万円を加えると、学生の負担は1,000万円未満となり、本学・愛知県・学生の3者が、ほぼ均等に3分の1ずつ負担し、地域医療に貢献することになる。

#### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

愛知県の地域枠入試は、出身都道府県を問わず、また高等学校既卒者も志願することができるため、全国各地のより広いマーケットから志願者を募集することを可能としている。これに合わせて、試験会場も名古屋・東京・大阪の3会場のどこでも受験することができるようにしている。また、一般入試の前期と後期で分けて募集するが、特に後期については、国公立の医科大学志望者のうち、その時点(3月上旬)でまだ進路が決まらない受験生も本学地域枠のターゲットにすることを意図

して、入試日程を設定している。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

本学では、今後さらに進む高齢社会に対応するために、医療のみにとどまらず、地域住民や行政との連携を前提とした介護・福祉の分野も見渡すことができる人材を育成して地域貢献することをビジョンの一つとして明確に打ち出している。それを実現するために、愛知県や豊田市から資金援助を受けて設置した寄附講座や、愛知県医師会の協力を得て行っている地域医療実習などを学生に提供し、知識や体験を通じて地域医療の必要性や課題を考えさせる場を用意している。

もとより、本学の卒業生の中には、地域の医師会役員としての役割を担う者も多く、今後はさらに多くの卒業生がこうした活動に積極的に携わり、地域医療の底上げに大きく貢献することが期待できる。(資料4)

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

愛知県医療施設従事医師数(令和2年時点)は、人口10万人対224.4名と全国平均の256.6名に比して87.4%にとどまる。(資料5)。愛知県の医療水準を全国平均まで引き上げるためには、地域医療を担う人材を養成し供給する必要がある。本学は愛知県の地域医療に貢献しようとする志をもった者を、地域枠による入試で選抜し、6年間を通じて地域医療の現場に身を置く教育プログラムの提供により、愛知県の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医師の育成を図る。令和2年の文部科学省医学教育課の調査によれば、地域枠等卒業者の地域定着率は94.7%であり、それ以外の卒業者の41.3%に対し、定着率が高いとされており(資料6)、さらに、同じく令和2年度の厚生労働省の調査によれば、地域枠入学者は地域枠プログラムを設置する都道府県で臨床研修および臨床研修修了後の研修・勤務を希望する割合が多い、という結果が出ていることから、十分な効果が期待できると思われる。(資料7)

以上

# 2022年度入試結果

区分	学校推薦型 選抜(公募制)	国際 バカロレア 選抜	一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜		愛知県地域特別枠		
				前期	後期	A方式	B方式	
募集人員	約20名	若干名	約65名	約15名	約5名	約5名	約5名	
						10名		
志願者	総数	96	2	2,040	603	57	12	41
	女子内数	50	1	783	266	25	7	19
	浪人内数	53		1,609	403	37	6	23
受験者	総数(A)	95	2	1,989	594	57	12	41
	女子内数	50	1	765	263	25	7	19
	浪人内数	52		1,564	395	37	6	23
第二次試験 受験資格者	総数(A)			409	276	45		37
	女子内数			130	113	20		18
	浪人内数			337	191	28		22
正 規 合 格 者	総数(B)	20	2	188	30	5	2	8
	女子内数	9	1	58	11	4	1	4
	浪人内数	13		144	17	3	1	3
第 一 補 欠 者	総数			137	46	19		29
	女子内数			60	20	9		14
	浪人内数			115	34	9		19
第 二 補 欠 者	総数			73	46	6		
	女子内数			10	18	2		
	浪人内数			70	35	6		
繰 上 合 格 者 数	総数(C)			137	30	3		17
	女子内数			60	14	2		9
	浪人内数			115	20	1		12
合 格 者	総数(D = B + C)	20	2	325	60	8	2	25
	女子内数	9	1	118	25	6	1	13
	浪人内数	13		259	37	4	1	15
入 学 者	総数	20	1	63	16	6	2	8
	女子内数	9	1	23	6	4	1	3
	浪人内数	13		53	9	4	1	6
入学者総数	116							

# 2021年度入試結果

学部   学科	入試名	倍率		募集人数	志願者数	受験者数	合格者		
		2021	2020				総数	女子%	現役%
医学部	全選抜合計	7.6	9.7	115	3189	3114	409	43	23
医学部	一般選抜合計	7.8	10.2	90	3055	2981	382	41	20
医学部	学校推薦型選抜 合計	4.9	3.8	25	134	133	27	59	63
医学部	共テ合計	7.5	12.2	25	811	802	107	50	24
医学部   医学科	一般選抜	7.9	9.5	65	2244	2179	275	38	18
医学部   医学科	共テ前期	8.7	15.5	15	713	705	81	48	23
医学部   医学科	共テ後期	4.8	6.5	5	63	62	13	46	15
医学部   医学科	共テ課外学校推 薦型/地域特別 B	2.7	2.2	5	35	35	13	62	38
医学部   医学科	共テ免除学校推 薦型/公募	5.3	4.4	20	106	105	20	60	55
医学部   医学科	共テ免除学校推 薦型/地域特別 A	5.0	2.8	5	25	25	5	60	80
医学部   医学科	国際バカロレア	1.5	1.0	若干	3	3	2	50	100

出典 大学受験パスナビ

[https://passnavi.evidus.com/search\\_univ/3610/bairitsu.html](https://passnavi.evidus.com/search_univ/3610/bairitsu.html)

出典 県内私立医科大学ホームページ

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su11/su1107/su110706/index.html>

国公立大学医学部医学科  
一般入試における延べ志願者数（過去3年）

日程	志願者数（A）		
	20年	21年	22年
前期日程	14,741	14,773	15,087
後期日程	7,404	7,110	7,255

※河合塾調べ（5月24日現在）

私立大学医学部医学科  
一般入試における延べ志願者数（過去3年）

	志願者数（A）		
	20年	21年	22年
全体	100,610	91,225	90,269
一般方式	84,428	79,922	78,887
共通テスト方式	16,182	11,303	11,382
一期	89,539	80,159	78,896
二期	11,071	11,066	11,373

※河合塾調べ（5月24日現在）

## 本学の愛知県地域枠入試 志願者数推移

(人)

	募集人数	志願者数	受験者数	最終合格者数	入学者数
2016年	5	127	123	8	5
2017年	10	164	159	21	10
2018年	10	327	320	43	10
2019年	10	241	237	33	9
2020年	10	400	387	38	10
2021年	10	340	329	34	10
2022年	10	353	340	43	10

## 本学医学部卒業生動向調査の結果（抜粋）



表IV-10. 地区医師会の役員別、回答者数

地区医師会の役員	回答者
はい	269 (31.4)
いいえ	588 (68.6)
不明	50
計	907

人数(不明を除く計に対する割合:%)

集計対象:「開業」の回答者

表IV-11. 県の医師会の役員別、回答者数

県の医師会の役員	回答者
はい	72 (8.5)
いいえ	776 (91.5)
不明	59
計	907

人数(不明を除く計に対する割合:%)

集計対象:「開業」の回答者



人口10万対医療施設従事医師・歯科医師数及び薬局・医療施設従事薬剤師数

(単位:人) 各年12月31日現在

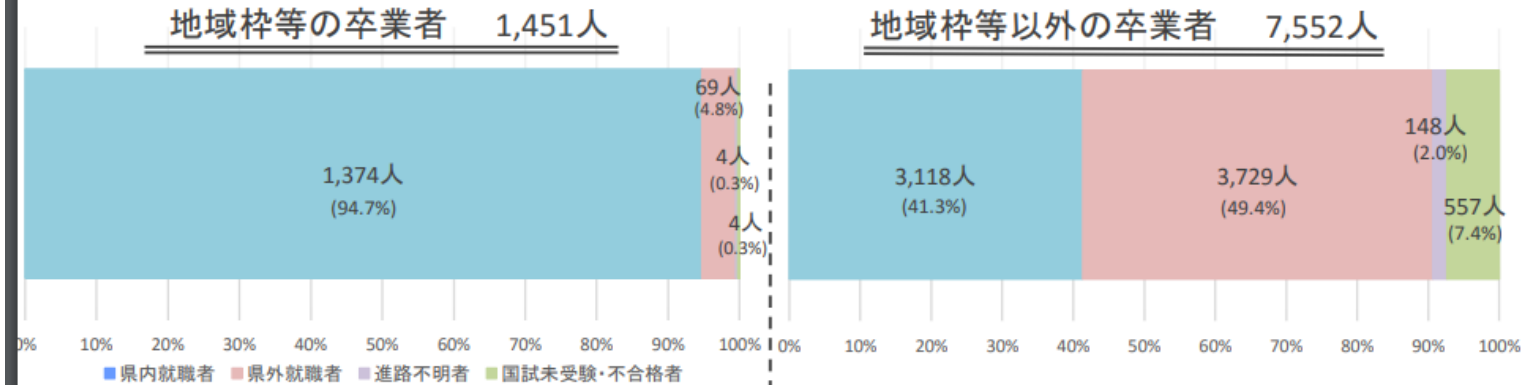
	医療施設に従事する医師数				医療施設に従事する歯科医師数				薬局・医療施設に従事する薬剤師数			
	平成26 (2014)	28 ('16)	30 ('18)	令和2 ('20)	平成26 (2014)	28 ('16)	30 ('18)	令和2 ('20)	平成26 (2014)	28 ('16)	30 ('18)	令和2 ('20)
全 国	233.6	240.1	246.7	256.6	79.4	80.0	80.5	82.5	170.0	181.3	190.1	198.6
北 海 道	230.2	238.3	243.1	251.3	80.2	80.4	80.6	81.3	163.6	175.6	184.3	190.3
青 森	193.3	198.2	203.3	212.5	56.5	56.8	55.6	56.5	133.8	143.5	153.0	161.2
岩 手	192.0	193.8	201.7	207.3	76.9	77.1	76.6	78.7	141.4	150.2	163.4	178.3
宮 城	221.2	231.9	238.4	246.3	76.2	78.5	78.1	77.5	168.5	182.9	188.6	194.3
秋 田	216.3	223.5	234.0	242.6	58.8	61.4	63.8	62.6	162.7	171.1	179.6	184.9
山 形	215.0	219.5	226.0	229.2	59.7	60.2	61.2	62.0	142.2	149.8	160.1	167.8
福 島	188.8	195.7	204.9	205.7	69.3	69.6	71.3	73.7	144.8	155.0	161.9	171.0
茨 城	169.6	180.4	187.5	193.8	65.8	65.9	67.0	68.2	159.7	167.4	172.9	181.4
栃 木	212.8	218.0	226.1	236.9	65.6	69.2	68.4	70.8	151.6	158.2	172.1	181.8
群 馬	218.9	225.2	228.3	233.8	69.7	70.9	71.3	72.5	146.6	159.0	166.3	175.9
埼 玉	152.8	160.1	169.8	177.8	70.4	71.4	71.9	74.4	153.3	165.8	175.6	185.0
千 葉	182.9	189.9	194.1	205.8	81.3	81.7	81.1	81.5	165.0	176.2	186.9	193.4
東 京	304.5	304.2	307.5	320.9	118.4	118.2	115.9	118.4	207.1	218.3	226.3	234.9
神 奈 川	201.7	205.4	212.4	223.0	79.5	77.8	78.1	80.1	187.7	197.3	202.9	213.5
新 潟	188.2	191.9	197.9	204.3	85.7	86.0	86.4	88.5	151.1	160.8	167.2	174.3
富 山	234.9	241.8	254.4	261.5	56.4	59.0	59.9	60.6	154.1	159.7	166.5	175.2
石 川	270.6	280.6	284.1	291.6	58.8	58.6	59.6	62.4	169.3	178.5	181.5	190.7
福 井	240.0	245.8	252.6	257.9	52.9	54.7	57.0	60.1	140.5	145.1	152.2	157.0
山 梨	222.4	231.8	239.2	250.1	70.5	71.1	73.6	72.1	158.0	169.2	181.4	190.9
長 野	216.8	226.2	233.1	243.8	73.4	75.0	77.1	77.3	165.2	175.0	182.8	189.2
岐 阜	202.9	208.9	215.1	224.5	78.0	81.0	83.0	84.8	151.8	156.0	163.1	171.4
静 岡	193.9	200.8	210.2	219.4	61.2	62.9	65.6	64.4	158.8	169.0	177.8	183.7
愛 知	202.1	207.7	212.9	224.4	72.8	73.6	74.1	79.5	149.1	157.9	168.3	174.8
三 重	207.3	217.0	223.4	231.6	63.3	64.3	64.7	65.6	145.9	158.7	167.4	171.7
滋 賀	211.7	220.9	227.6	236.3	55.4	56.0	54.9	58.2	158.0	170.5	182.0	186.6

京 都	307.9	314.9	323.3	332.6	71.1	71.6	72.9	75.1	158.3	172.6	181.5	192.4
大 阪	261.8	270.4	277.0	285.7	85.8	86.4	86.7	89.8	178.7	197.1	206.9	216.0
兵 庫	232.1	242.4	252.2	266.1	69.7	69.6	71.6	74.1	198.2	214.0	223.2	233.9
奈 良	225.7	243.1	258.5	277.1	67.0	67.1	66.6	70.9	143.8	163.8	168.9	198.4
和 歌 山	277.4	290.1	302.1	307.8	74.5	75.3	75.2	77.3	164.3	181.9	187.6	199.4
鳥 取	289.5	298.1	304.8	314.8	61.0	59.6	60.9	62.9	159.8	168.4	181.4	189.0
島 根	265.1	272.3	286.3	297.1	56.8	57.8	56.2	58.1	156.0	162.2	173.8	182.2
岡 山	287.8	300.4	308.2	320.1	86.8	89.0	90.9	93.4	166.2	175.8	182.3	190.3
広 島	252.2	254.6	258.6	267.1	86.7	86.4	89.6	90.9	193.8	203.9	213.1	221.2
山 口	244.8	246.5	252.9	260.1	66.7	69.0	70.1	72.2	187.0	200.7	206.9	213.6
徳 島	303.3	315.9	329.5	338.4	101.2	103.1	107.6	112.6	210.9	220.9	233.8	238.6
香 川	268.3	276.0	282.5	290.0	72.3	73.5	73.5	75.9	186.1	199.4	206.1	216.4
愛 媛	254.3	262.5	269.2	276.7	66.7	68.2	67.4	69.1	158.5	170.0	182.3	190.3
高 知	293.0	306.0	316.9	322.0	68.2	69.5	72.0	70.3	185.6	192.2	205.2	215.0
福 岡	292.9	297.6	302.6	309.9	104.1	101.9	103.5	104.1	182.8	195.7	205.7	211.3
佐 賀	266.1	276.8	280.0	290.3	74.1	73.2	70.6	74.4	178.4	191.9	200.2	204.7
長 崎	287.7	295.7	306.3	319.1	85.3	85.7	85.3	87.7	170.6	178.6	183.5	190.4
熊 本	275.3	281.9	289.8	297.0	74.5	75.3	74.4	76.6	163.9	171.5	183.7	192.9
大 分	260.8	268.5	275.2	287.1	63.2	63.5	64.5	64.2	158.4	164.8	171.0	181.6
宮 崎	233.2	238.4	246.6	255.5	64.3	63.5	65.7	66.3	148.5	152.4	168.6	176.5
鹿 児 島	247.8	262.9	270.8	283.6	74.8	79.0	78.9	82.2	158.5	166.4	173.2	181.2
沖 縄	241.5	243.1	240.7	257.2	57.6	57.6	58.0	58.9	131.0	134.7	139.4	148.3

出典 厚生労働省「令和2年(2020年)医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」統計表  
[https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/20/dl/R02\\_toukeihyo.pdf](https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/20/dl/R02_toukeihyo.pdf)

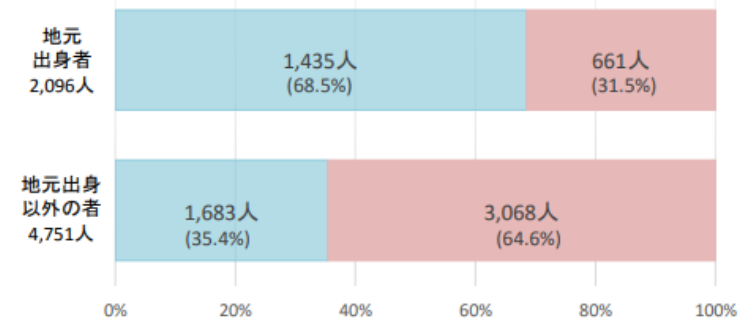
## 平成30年度卒業者の就職状況

- 地域枠等の卒業の方が、地域枠等以外の卒業より県内就職<sup>(※)</sup>率が高い。
- 地元出身の方が、地元出身以外の者より県内就職率が高い。
- 地域枠等の卒業生の方が、地域枠等以外の卒業より国試合格率が高い。



- ※「県内就職」とは、卒業した医学部の所在する都道府県内での就職をいう。
- ◆「地域枠等」とは、医学部定員増の要件としての枠だけでなく、卒後一定期間、地域医療に従事する意思をもつ学生に関するあらゆる枠をいう。具体的には以下の通り。
- 地域枠
- (1)入試枠 ①卒後一定期間、指定された地域において医師として従事すること(従事要件)を出願要件の1つとする医学部入学試験における募集枠  
②従事要件付きの修学資金を受給すること(受給要件)を出願要件の1つとする医学部入学試験における募集枠
- (2)修学資金枠 ③都道府県が医学部臨時定員増に伴い設置したもの  
④大学が独自に設置したもの
- 地元出身者枠
- ⑤医学部生を対象に、特定の地域の出身者であること(地元要件)を出願要件の1つとする医学部入学試験における募集枠
- ◆受給要件に紐づいた地域枠等の卒業生については、都道府県等との契約において、卒業後に指定された地域で医師として従事するなどの義務を履行中の者、猶予中の者を県内就職者、当該義務を不履行の者を県外就職者として扱った。
- ◆右図において「地元出身」とは、医学部の所在する都道府県内の高校出身者をいう。

## ◇地域枠等以外の卒業生(県内就職者・県外就職者)を地元出身かどうかで分類すると

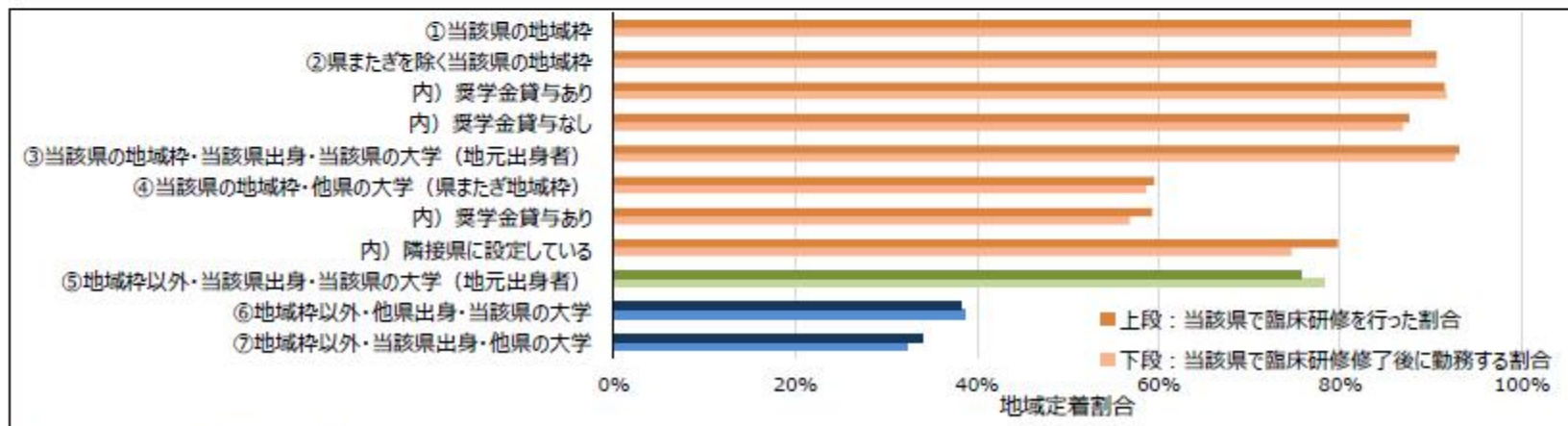
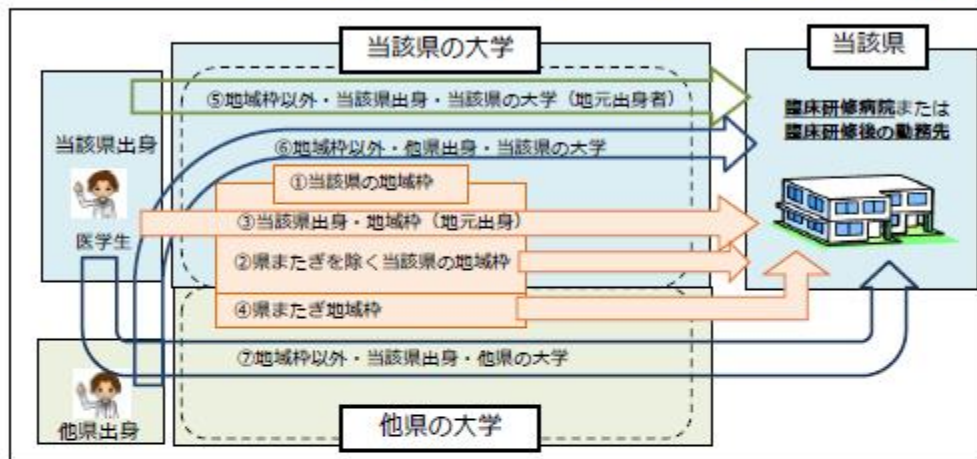


(文部科学省医学教育課調べ) 6

## 地域枠・地域枠以外の地域定着割合

医療従事者の需給に関する検討会  
第35回 医師需給分科会  
令和2年8月31日 資料2 一部改定

- 医学部卒業後の医師定着割合を比較すると、地域枠以外の医師の地域定着割合は低い。
- 地域枠以外であっても、当該県出身かつ当該県の大学出身の場合、医師の地域定着割合は比較的高い。



※ 出身地又は大学が海外の場合及び当該項目について無回答の場合は除外。  
 ※ 出身地：高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い都道府県。  
 ※ 県またぎ地域枠：出身大学の所在地以外の都道府県（当該県）における勤務義務がある地域枠。  
 ※ 防衛医科大学及び産業医科大学は除外。自治医科大学については県またぎ地域枠についてのみ除外。

出典：臨床研修修了者アンケート調査（平成29～31年）厚生労働省調べ

出典：厚生労働省「令和5年度以降の医師需給および地域枠設置の考え方について」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000695877.pdf>

## 学 長 の 氏 名 等

調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額 基本給 (千円)	現職 (就任年月)
一	学長	ユザワ ユキオ 湯澤 由紀夫 (令和3年7月)	65 (高)	医学博士	1,290	藤田医科大学 学長 (令和3年7月～令和5年3月)

令和5年度からの収容定員増加等に係る学則変更予定大学等 審査意見

区分	私立
大学等名	藤田医科大学

No.	審査意見	
1	専任教員の教授数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。(保健衛生学部リハビリテーション学科)	是正事項



## <審査意見への対応>

当初提出していた基本計画書の内容（専任教員数）が、当方の転記ミスによる誤りであったことが判明したため、本書面により補正申請致します。

（現在の正しい専任教員数）

教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼 任 教 員 等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新規	なし	人 ( )	人 ( )	人 ( )	人 ( )	人 ( )	人 ( )	人 ( )
	既設	医学部 医学科	127 (127)	96 (96)	166 (166)	408 (408)	797 (797)	132 (132)	183 (183)
		医療科学部 医療検査学科	13 (13)	10 (10)	9 (9)	6 (6)	38 (38)	2 (2)	45 (45)
		放射線学科	6 (6)	13 (13)	4 (4)	3 (3)	26 (26)	0 (0)	45 (45)
		保健衛生学部 看護学科	8 (8)	7 (7)	12 (12)	15 (15)	42 (42)	2 (2)	34 (34)
		リハビリテーション学科	8 (8)	7 (7)	13 (13)	15 (15)	43 (43)	0 (0)	30 (30)
		計	162 (162)	133 (133)	204 (204)	447 (447)	946 (946)	136 (136)	322 (322)
		合計	162 (162)	133 (133)	204 (204)	447 (447)	946 (946)	136 (136)	322 (322)

## <原因と背景>

本学には、医学部以外にも 4 つの学科があり、専任教員の数は各々の学科で把握しています。認可申請等の場合、貴省への申請部署（今回は医学部学務課）が、各学科に対して必要事項に関するデータ提供を依頼し、これを申請部署が転記するといった作業をしています。具体的には、各学科の担当者から報告された数字等について、申請部署が当該箇所部分的にコピー&ペーストを行い、基本計画書を作成しています。今回、こうした一連の作業を学科の数だけ繰り返して、基本計画書を作成するプロセスで、誤ったデータが上書きされ、これに気付かないまま基本計画書を提出するに至りました。

## <根拠資料>

前述の通り、事務的なミスによるものであった根拠として以下を添付致します。

- a 【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書（抜粋）  
 （保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻）
- b 【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書（抜粋）  
 （保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻）

上記は、別途調査（AC）の際にすでに貴省へ提出済みの、令和4年度5月1日現在の状況を報告したものです。

a（リハビリテーション学科 理学療法専攻）においては、45 ページ（2）-②専任教員等数【大学】の「現在（報告時）の状況」欄に、教授数を「3名」と記載しています。また、b（リハビリテーション学科 作業療法専攻）においては、同じく45 ページに「5名」と記載してあります。これにより、リハビリテーション学科としての教授数は合わせて8名であり、大学設置基準を満たしていることについて、すでに報告をしているものです。

これにより、今回ご指摘をいただいた部分が、事務的なミスであったことが判明しました。

### <再発防止について>

貴省への申請部署が、他学科の数字も含め、基本計画書に記載したすべての内容に関する責任を負えるよう、改めて部署内のチェック機能を強化します。また、例えば、貴省へ提出前に、他学科に基本計画書を確認してもらうなど、大学を挙げて、基本計画書の記載内容が担保できるよう体制を整備します。

以上

a

学校コード F123310106826  
注3

設置年度 平成 31年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

**届出**

注2  
藤田医科大学 保健衛生学部

### 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園  
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	大学事務局学務部学務課
職名・氏名	カカリチヨウ 係長 サカイダ ナオノリ 坂井田 直孝
電話番号	0562-93-9420
（夜間）	0562-93-9420
e-mail	hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)



# 目次

保健衛生学部

＜リハビリテーション学科 理学療法専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

5 教員組織の状況

<保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻>

(1) ①-1 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【令和元年度】	【令和2年度】	【令和3年度】	【令和4年度】
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	金田 嘉清 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	金田 嘉清 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	金田 嘉清 (62) <平成31年4月> 博士(医学)	金田 嘉清 (64) <平成31年4月> 博士(医学)
		理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学10-小児※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学10-小児※ 理学療法治療学9-小児※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究
専	教授	寺西 利生 (55) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	寺西 利生 (55) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	寺西 利生 (56) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	寺西 利生 (58) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)
		理学療法治療学1-中核1 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学1-中核1 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学1-中核1※ 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	理学療法治療学1-中核1 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究
専	教授	櫻井 宏明 (52) <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	櫻井 宏明 (52) <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	櫻井 宏明 (53) <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	櫻井 宏明 (55) <平成31年4月> 博士(保健衛生学)
		検査・測定論 1(理) 検査・測定論実習 1(理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	検査・測定論 1(理) 検査・測定論実習 1(理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	検査・測定論 1(理) ※ 検査・測定論実習 1(理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	検査・測定論 1(理) ※ 検査・測定論実習 1(理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究
専	教授	米本 倉基 (56) <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	米本 倉基 (56) <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	米本 倉基 (57) <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	米本 倉基 (58) <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)
		医療経営学※ インターンシップ	医療経営学※ インターンシップ	医療経営学※ インターンシップ	医療経営学※ インターンシップ
専	准教授	田辺 茂雄 (41) <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)	田辺 茂雄 (41) <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)	田辺 茂雄 (42) <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)	田辺 茂雄 (44) <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)
		基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータプログラミング 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータプログラミング 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピュータプログラミング※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 医療情報処理学※	基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピュータプログラミング※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 医療情報処理学※
専	准教授	西井 一宏 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	西井 一宏 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	西井 一宏 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	西井 一宏 (54) <平成31年4月> 博士(医学)
		解剖学 1 ※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習	解剖学 1 ※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習	解剖学 1 ※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習	解剖学 1 ※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
15 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
4	4	10	1	19	2	3	6	9	5	24	0
(4)	(4)	(10)	(1)	(19)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
3	6	9	5	24	0	3	6	9	5	24	0
[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 4 ]	[ 5 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 4 ]	[ 5 ]	[ Δ2 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
63 歳	1 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{24}{19} = \boxed{126.31} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{24} = \boxed{4.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



学校コード F123310106826

注3

設置年度 平成

31年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

藤田医科大学 保健衛生学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局学務部学務課

職名・氏名 カカリチョウ 係長 サカイダ 坂井田 オノノリ 直孝

電話番号 0562-93-9420

（夜間） 0562-93-9420

e-mail [hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp](mailto:hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp)

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

保健衛生学部

＜リハビリテーション学科 作業療法専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

5 教員組織の状況

<保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名			
専	教授	鈴木 孝治 (61) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (61) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	鈴木 孝治 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)		
		作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究		作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究		作業療法概論※ 作業療法教育・管理学概論※ 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 作業療法治療学7-内部障害 作業学2-木工・陶芸		作業療法概論※ 作業療法教育・管理学概論※ 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 作業療法治療学7-内部障害 作業学2-木工・陶芸		作業療法概論※ 作業療法教育・管理学概論※ 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 作業療法治療学7-内部障害 作業学2-木工・陶芸	
専	教授	山田 晃司 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (53) <平成31年4月> 博士(医学)	山田 晃司 (53) <平成31年4月> 博士(医学)		
		生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習		生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習		生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 機能解剖学演習		生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 機能解剖学演習			
専	教授	鈴木 めぐみ (50) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (50) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション 療法学)	鈴木 めぐみ (51) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	鈴木 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)		
		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 運動学実習 作業療法概論 作業療法治療学3-中核3 作業療法学特論		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 運動学実習 作業療法概論 作業療法治療学3-中核3 作業療法学特論		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 運動学実習 作業療法概論 作業療法治療学3-中核3 作業療法学特論	
専	教授	稲本 陽子 (42) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (42) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (43) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (44) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (44) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (44) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (45) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	稲本 陽子 (45) <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)		
		言語機能学 言語療法学 言語病理学		言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ 国際臨床概論※ 国際臨床演習I 国際臨床演習II		言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ 国際臨床概論※ 国際臨床演習I 国際臨床演習II		言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ 国際臨床概論※ 国際臨床演習I 国際臨床演習II		言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ 国際臨床概論※ 国際臨床演習I 国際臨床演習II	
				小野木 啓子 (55) <令和2年4月> 博士(医学)	小野木 啓子 (56) <令和2年4月> 博士(医学)	小野木 啓子 (56) <令和2年4月> 博士(医学)	小野木 啓子 (56) <令和2年4月> 博士(医学)	小野木 啓子 (57) <令和2年4月> 博士(医学)	小野木 啓子 (57) <令和2年4月> 博士(医学)		
				神経内科学1 神経内科学2 養護学 老年学 一般臨床医学※		神経内科学1 神経内科学2 養護学 老年学 一般臨床医学※		神経内科学1 神経内科学2 養護学 老年学 一般臨床医学※			
				松下 文雄 (52) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	松下 文雄 (53) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	松下 文雄 (53) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	松下 文雄 (53) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	松下 文雄 (54) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	松下 文雄 (54) <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)		
				生物学		生物学		生物学			
専	准教授	武田 湖太郎 (41) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (41) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (42) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (43) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (43) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (43) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (44) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	武田 湖太郎 (44) <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)		
		リハビリテーション工学 医用情報処理学		リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※ 基礎情報処理学※ コンピュータプログラミング アンプリI (Interprofessional Education I) 作業療法研究概論		リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※ 基礎情報処理学※ コンピュータプログラミング アンプリI (Interprofessional Education I) 作業療法研究概論		リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※ 基礎情報処理学※ コンピュータプログラミング アンプリI (Interprofessional Education I) 作業療法研究概論			



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	15
	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	1	3	4	12	2	5	1	3	10	19	0
(4)	(1)	(3)	(4)	(12)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	1	3	10	19	0	5	1	3	10	19	0
[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 7 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 7 ]	[ Δ2 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{12} = \boxed{158.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。